

北越工業株式会社

本社・工場 新潟県燕市下粟生津 3074 〒959-0293
TEL:0256-93-5571(代) FAX:0256-94-7567

東京本社 東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル 〒160-0023
●東日本営業部 TEL:03-3348-8563 FAX:03-3348-7241
●直需部 TEL:03-3348-8565 FAX:03-3342-5966
●海外営業部 TEL:03-3348-7281 FAX:03-3348-7289
●販売促進部 TEL:03-3348-8569 FAX:03-5322-8550

●東日本営業部
北海道支店 北海道札幌市中央区南一条東2-2-558大通東ビル7F 〒060-0051
札幌営業課 TEL:011-222-1122 FAX:011-222-1129

東北支店 宮城県仙台市宮城野区中野2-4-8 〒983-0013
仙台営業一課 TEL:022-258-9321 FAX:022-258-8787
仙台営業二課

北関東支店 群馬県高崎市東貝沢町 1-18-12 〒370-0041
高崎営業課 TEL:027-361-1600 FAX:027-361-1640
新潟営業所 新潟県燕市笹曲 5-22 〒959-0117
TEL:0256-97-3707 FAX:0256-97-3705

東京支店 東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル 〒160-0023
東京営業一課 TEL:03-3348-8563 FAX:03-3348-7241
東京営業二課
千葉営業所 千葉県千葉市中央区港町 12-6 〒260-0831
TEL:043-223-1092 FAX:043-223-1096
沖縄営業所 沖縄県浦添市牧港 5-6-3 〒901-2131
TEL:098-879-3311 FAX:098-879-3335

西関東支店 神奈川県横浜市中山町 326-2 〒226-0011
横浜営業課 TEL:045-930-1221 FAX:045-930-1222
静岡営業所 静岡県静岡市駿河区宮竹 1-10-23 〒422-8035
TEL:054-238-0177 FAX:054-238-0323

●西日本営業部
中部支店 愛知県一宮市丹陽町伝法寺 120 〒491-0822
名古屋営業課 TEL:0586-77-8851 FAX:0586-76-4192
金沢営業所 石川県金沢市長田 2-28-14 〒920-0043
TEL:076-233-1152 FAX:076-233-1262

大阪支店 大阪府摂津市新在家 2-32-13 〒566-0055
大阪営業一課 TEL:06-6349-3631 FAX:06-6349-1141
大阪営業二課
高松営業所 香川県高松市春日町 1648-2 〒761-0101
TEL:087-841-6101 FAX:087-843-3574

中国支店 広島県広島市中区江波南 2-10-17 〒730-0835
広島営業課 TEL:082-292-1122 FAX:082-292-1130

九州支店 福岡県大野城市御笠川 6-1-2 〒816-0912
福岡営業課 TEL:092-504-1831 FAX:092-504-1839
南九州営業所 鹿児島県始良市加治木町反土 1442-8 〒899-5231
TEL:0995-62-4166 FAX:0995-62-4018

●直需部
東京直需課 東京都新宿区西新宿1-22-2新宿サンエービル 〒160-0023
プラント課/電設課 TEL:03-3348-8565 FAX:03-3342-5966
技術課/サービス課 TEL:03-3348-7244
大阪直需課 大阪府摂津市新在家 2-32-13 〒566-0055
TEL:06-6349-3636 FAX:06-6349-1141

ホームページ <http://www.airman.co.jp>

◆サービスセンター

株式会社 エーエスシー

本社・東関東事業所 埼玉県八潮市南後谷242 〒340-0831
TEL:048-932-6401 FAX:048-932-6403

小池事業所 千葉県東津市業地1-1 君津製罐所ビジネスセンター-311号 〒292-0835
TEL:0438-40-5588 FAX:0438-38-0789

東北事業所 宮城県仙台市宮城野区中野2-4-8 〒983-0013
TEL:022-259-0191 FAX:022-259-0120

新潟事業所 新潟県燕市笹曲5-22 〒959-0117
TEL:0256-97-3603 FAX:0256-97-3705
部品課 TEL:03-6304-5481 FAX:03-6304-5482
TEL:0256-98-0005 FAX:0256-98-0006

西関東事業所 神奈川県相模原市緑区西橋本3-10-18 〒252-0131
TEL:042-779-9666 FAX:042-779-9668

名古屋事業所 愛知県一宮市丹陽町伝法寺 120 〒491-0822
TEL:0586-75-5521 FAX:0586-75-5520

金沢事業所 石川県金沢市長田2-28-14 〒920-0043
TEL:076-260-1071 FAX:076-260-1072

大阪事業所 大阪府摂津市新在家2-32-13 〒566-0055
TEL:06-6349-3641 FAX:06-6349-3651
部品課 TEL:06-6349-3670 FAX:06-6349-3671

広島事業所 広島県広島市中区江波南2-10-17 〒730-0835
TEL:082-297-3500 FAX:082-294-8320

高松事業所 香川県高松市春日町1648-2 〒761-0101
TEL:087-844-8660 FAX:087-841-5761

九州事業所 福岡県大野城市御笠川 6-1-2 〒816-0912
TEL:092-580-8851 FAX:092-504-1055

ホームページ <http://www.a-s-c.net>

⚠ 安全に関するご注意

- 取扱説明書にしたがって、安全にご使用下さい。
- 故障や事故を未然に防止するために、日常点検・定期点検を必ず行なってください。

- このカタログに掲載の写真は、カタログ用にポーズをとって撮影したものです。実際に機械から離れる場合は、取扱説明書に従って下さい。
- 印刷の関係上、塗装色など実際の製品と異なることがありますのでご了承下さい。
- 指定色につきましては、別途塗装料金をいただきますのでご了承下さい。
- この内容は、2015年12月現在のものです。仕様および外観は予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

AIRMAN お客様技術相談室  **0120-07-6364**

AIRMAN は北越工業(株)の登録商標です。

販売店

ミニバックホー

AX30u~50u-6B

AIRMAN®

後方超小旋回ミニバックホー

AX30u/35u/40u/50u-6B

機械質量 3,000kg ~ 4,780kg

バケット容量 0.09m³ ~ 0.16m³



AX35u
(2柱キャノピ、エキストラ配管仕様)

北越工業株式会社
HOKUETSU INDUSTRIES CO., LTD.

ユーティリティ & ユーザビリティ

Utility & Usability

使いやすさにこだわった操作空間。
 燃料費の節約に貢献する省エネシステム。
 細部にわたるメンテナンス性の向上。
 掘る・積む・均すなどの機能、性能(ユーティリティ)の高さはもちろんのこと、
 オペレータの使いやすさ、わかりやすさ(ユーザビリティ)を高めることで、
 お客様に納得して使っていただけるミニが新登場。

ΔX30U-6B 機械質量 **3,000kg** バケット容量 **0.09m³**



ΔX35U-6B 機械質量 **3,410kg** バケット容量 **0.11m³**



エキストラ配管は製造時対応オプションです。

ΔX40U-6B 機械質量 **4,440kg** バケット容量 **0.14m³**



4柱キャノピ、エキストラ配管は製造時対応オプションです。

ΔX50U-6B 機械質量 **4,780kg** バケット容量 **0.16m³**



キャブは製造時対応オプションです。

※機械質量はゴムクローラ、2柱キャノピ仕様のもので。



国土交通省
排出ガス対策型建設機械
(第3次基準) 指定機

ΔX30U-6B ΔX35U-6B



特定特殊自動車
排出ガス2014年基準
適合車

ΔX40U-6B ΔX50U-6B



AX35u
(2柱キャノピ、エキストラ配管仕様)

排出ガス2014年基準適合 新世代クリーンエンジン搭載

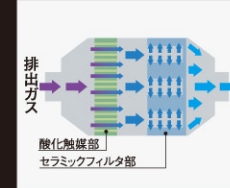
ΔX40U-6B
ΔX50U-6B

新型エンジンは特定特殊自動車排出ガス2014年基準に適合。「マフラフィルタ」に代表される排出ガス浄化装置で、PM(粒子状物質)を捕集します。さらに「クールドEGR」「コモンレール式燃料噴射システム」「アイソクロナス制御」を新採用し、NOxの低減を追求しました。排出ガスを可能な限りクリーンにします。



マフラフィルタ

排出ガスからPMを除去する濾過装置。マフラ内のセラミックフィルタによりPMを捕集。フィルタ内にPMが溜まると、独自の技術で再燃焼し、セラミックフィルタを再生します。



燃料消費を少なくする新テクノロジー

電子ガバナを採用した新型エンジンを搭載。アクセル制御を電子化することで、正確なエンジンコントロールと低燃費を実現しました。

ECO(エコノミー)モード/ PWR(パワー)モード切替え

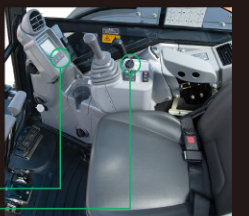
マルチモニタ上で2つの作業モードを簡単に切替ができます。

ECO(エコノミー)モード: 燃費優先

PWR(パワー)モード: 作業スピード優先

エンジン回転速度は、エンジンコントロールダイヤルで任意の速度に調整できます。

ECO/PWRモード切り替えスイッチ
エンジンコントロールダイヤル



オートアイドル機能

操作レバーが4秒間中立状態にあると、自動的にエンジンがアイドル回転になり、燃費の低減や騒音の低減を図ります。

国土交通省 排出ガス3次基準 適合エンジン搭載

ΔX30U-6B
ΔX35U-6B

オペレータの意思に応える俊敏なフロント動作と低燃費を高次元で融合させるため、電子制御技術を駆使し、この問題を解決。さらに、振動や騒音を抑えることで、超低騒音型建設機械の基準をクリアしました。



オートアイドルリングストップ機能 **オプション**

長時間のアイドルリング状態が続くと、自動的にエンジンを停止する省エネ機構です。停止するまでの時間は、3分、5分、10分、15分より選択可能です。

優れた操作性 Operability



AX50u
(2柱キャノピ、エキストラ配管仕様)
※オプションの鉄クローラ及びバケットシリンダガード、ホースプロテクタ、アームレスト付き

さまざまな作業ができる 優れた油圧システム

作業負荷に応じて最適なパワーとスピードを制御する可変容量型ポンプ。重作業時には力強いパワーが、軽作業時にはスピーディな作業速度が得られます。一段と迅速かつ安定した作業を実現します。

優れた全操作油圧パイロット式

パイロットレバーは人間工学から考えられたレバー位置に配置され、微操作性に定評があります。全操作油圧パイロット化により、レバー操作力が軽減します。

かき寄せ作業が 手早くできるブレード

ブレードとバケットの間隔を狭くし、土砂を集めるかき寄せやアスファルトのはく離などの作業性が向上しました。



超低騒音対応の 上向きマフラ

オプション

塀や植込みなどに排出ガスがかかりにくくなる上向きマフラです。

※AX40u / AX50uは標準装備。



走行速度切替えスイッチ

ブレードレバーに押しボタン式の走行速度切替えスイッチを装備しました。ブレード操作しながらの変速操作がスムーズに行えます。

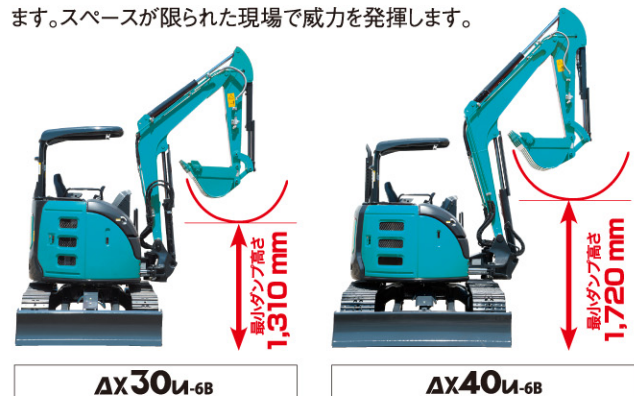


高速走行時自動変速システム

高速走行時に坂道などで高負荷になると自動的に低速になり、低負荷に戻ると高速に復帰します。

ダンプ積み込み高さを確保

ダンプと接近した場合でも、十分な積み込み高さを実現。2t車/4t車ダンプの後方からでも、荷台にバケットを接触することなく積み込みができます。スペースが限られた現場で威力を発揮します。



快適な作業空間 Comfortability

シンプルで 扱いやすい操作空間

初めて操作するオペレータでも、キースイッチや、エンジンコントロールダイヤルの場所が分かりやすい配置になっています。



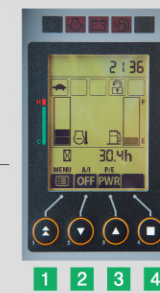
視認性にすぐれたマルチモニタ

見やすい液晶モニタを採用したマルチモニタシステム。燃料残量、冷却水温、各種警告灯などの機械の状態や、設定、警告などの必要な情報を、簡単に表示できます。

- 1 メニュースイッチ
- 2 オートアイドルスイッチ
- 3 ECO/PWRモード切替えスイッチ
- 4 MLクレーンスイッチ (MLクレーン仕様に設定)

表示項目

- ・水温計
- ・燃料残量計
- ・アワメータ
- ・時計
- ・作業灯表示
- ・走行モード表示
- ・各種エンジン警告表示
- ・オーバーヒート警告灯
- ・エンジン油圧警告灯
- ・チャージ警告灯
- ・燃料残量警告灯



ニュートラル エンジンスター機能

ロックレバーがロック状態でのみエンジンが始動できるニュートラルエンジンスター機構を採用しています。



TOPS対応2柱キャノピ

万が一の横転時にシートベルトを装着したオペレータを保護する構造です。TOPS (ミニショベル横転時保護構造) の安全基準に適合しています。



AX30u
(2柱キャノピ、エキストラ配管仕様)
※オプションの4面補強アームおよび鉄クローラ、バケットシリンダガード、ホースプロテクタ、アームレスト付き

ROPS/OPG (TOPガード) 対応 4柱キャノピ & キャブ

オプション

転倒や物の落下といった事故の際、オペレータの被害を最小限にとどめます。



雨溝付きの大型ルーフ

夏の日差しや雨を遮る大型タイプのルーフです。雨溝を装備し、雨が背面に流れるように配慮しました。



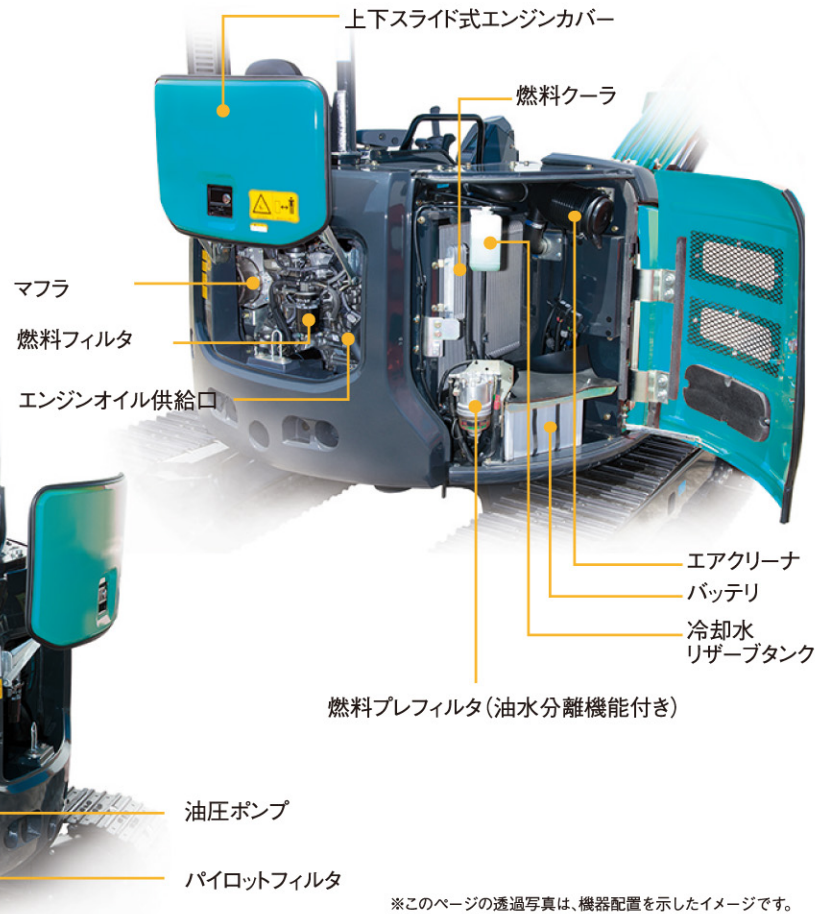
4wayセレクトバルブ式マルチレバー

オプション

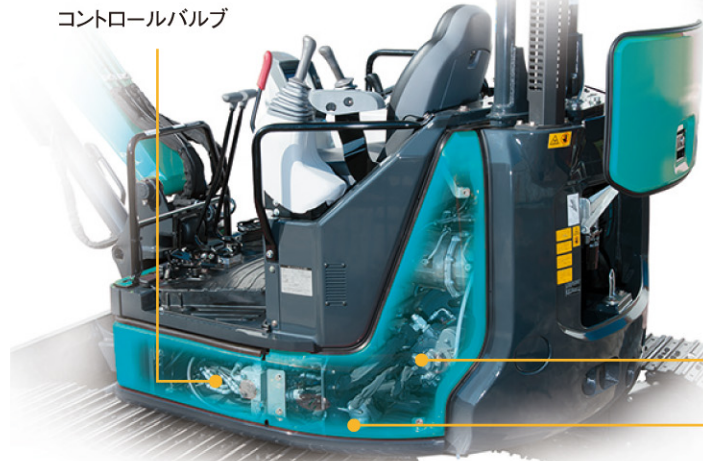
一般的な4種類の操作パターンに対応。慣れた操作へ容易に切り替えられます。操作パターンは、乗車時に点検窓から確認可能。誤操作のリスクを低減します。



かんたん メンテナンス Easy Maintenance

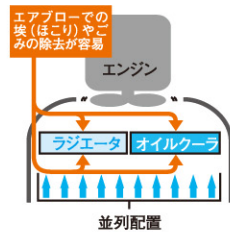


※このページの透過写真は、機器配置を示したイメージです。



清掃性と冷却性に 優れたラジエータ周り

清掃しやすい並列配置のラジエータとオイルクーラを採用。さらに大型ラジエータカバーの通気口により、冷却性能を考慮しています。



上下スライド式 エンジンカバー

カバーが後方へ張り出す量が少ないので、メンテナンス作業に広いスペースを必要としません。



自己潤滑ブッシュ

ピン部にはグリスの保持性の高い自己潤滑ブッシュを採用し、長時間のグリス給脂インターバルを実現しました。



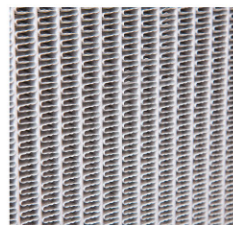
チルトアップフロアで サービス作業を迅速に

チルトアップにより、コントロールバルブ周りの作業空間が広がり、特殊アタッチメントの装着といった改造作業がスムーズに行えます。



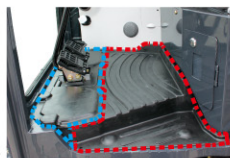
目詰まりしにくい ラジエータ、オイルクーラ

さびにくいアルミニウム製ラジエータ、オイルクーラにはウエービーフィンを採用しました。冷却フィンが目詰まりしにくく、清掃が容易になりました。



2分割式フロアマット

フロアマットは2分割式とし、フロア部だけ取り外して清掃できます。また、パターンも機外に掃き出しやすい形状に改良しました。



自慢の耐久性 Durability



AX50u
(2柱キャノピ、エキストラ配管仕様)
※オプションの鉄クローラ及びバケットシリンダガード、ホースプロテクタ、アームレスト付き

衝撃からボディを 守るD型フレーム

上部旋回体のサイドフレームは、豊富な実績のあるD型構造体をさらに強化。クローラとDフレーム間の石の挟み込みを考慮し、縦方向の剛性を向上しました。



ボックス型フレームの 頑丈なブレード

ボックス構造のステーを採用、ブレード全体の信頼性を向上しました。また、ステー部に開口部を設け、土砂流れを良くしました。



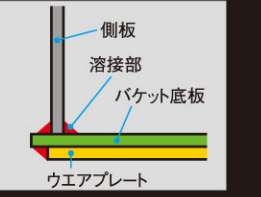
スイングポストピンの 一本化

スイングポストには二本構造から大型の一本ピンを採用しガタの発生を抑えます。



耐久性のある フラットボトムバケット

バケット底板の溶接部が摩耗しにくいフラットボトムバケットを標準装備しました。



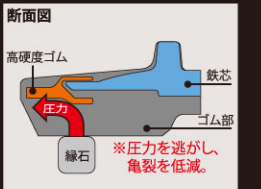
強化型山形 ブームシリンダガード

ブームシリンダの損傷を防止する山形ガードを強化しました。また、取付けボルトを2本にし、強度アップとゆるみ防止を図っています。



高耐久ゴムクローラ

AX30u/35uのゴムクローラには高硬度ゴムを採用。圧力を逃がし、亀裂を低減します。AX40u/50uは圧力を逃がしやすい芯金構造としています。



図はAX30u/35uの構造です

SPECIFICATIONS

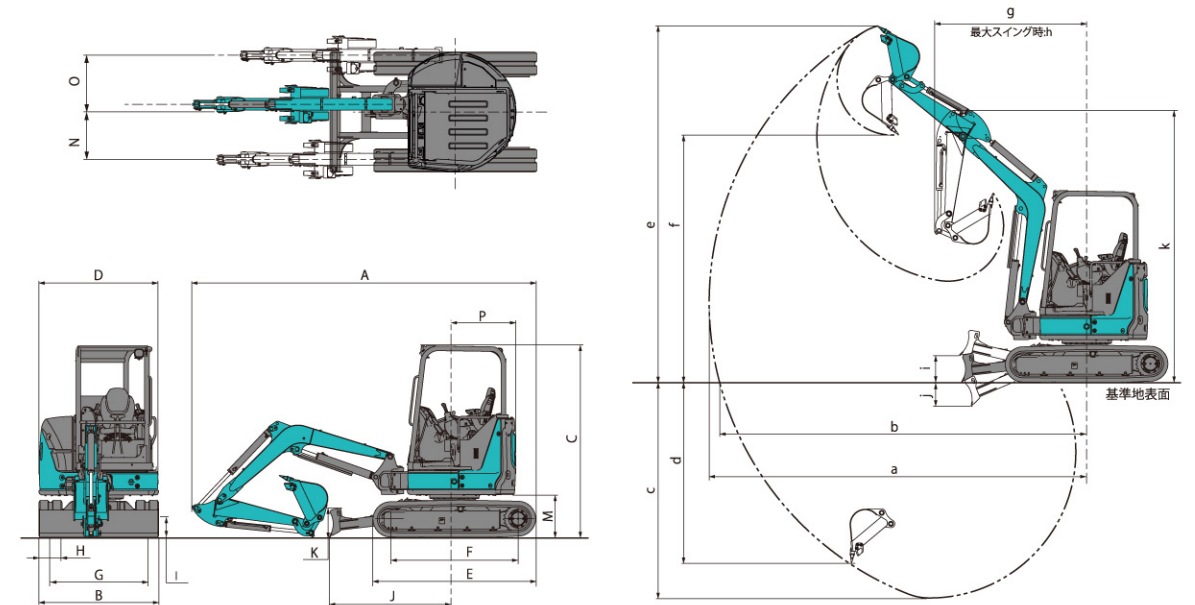
仕様

項目	ΔX30 _U -6B			ΔX35 _U -6B			ΔX40 _U -6B			ΔX50 _U -6B			
クローラ形式	ゴム												
ルーフ形式	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	
機械質量	kg	3,000	3,030	3,200	3,410	3,440	3,610	4,440	4,450	4,580	4,780	4,790	4,920
機体質量	kg	2,300	2,330	2,500	2,620	2,650	2,820	3,350	3,360	3,490	3,670	3,680	3,810
標準バケット容量 新JIS/旧JIS	m ³	0.09/0.08			0.11/0.10			0.14/0.13			0.16/0.14		
標準バケット幅 [サイドカッタ無]	mm	500[450]			600[550]			600[550]			650(600)		
●ディーゼルエンジン													
名称	3TNV88						4TNV88C						
形式	水冷4サイクル	3気筒直噴式 電子制御式ガバナ						4気筒直噴式 電子制御式ガバナ					
総排気量	L	1,642(1,642)						2,189(2,189)					
定格出力[ネット]	kW/min ⁻¹	18.0/2,400 [24.5PS/2,400rpm]						27.1/2,400 [36.9PS/2,400rpm]					
●油圧装置													
油圧ポンプ形式	可変容量形斜板式×2、歯車式×1						可変容量形斜板式×1						
操作用油圧ポンプ形式	歯車式×1												
主リーフセット圧	MPa[kgf/cm ²]	24.5 [250]、20.6 [210]						24.5 [250]					
旋回油圧モータ形式	定容量型斜板式×1												
走行油圧モータ形式	可変容量型斜板式×2												
●性能													
最大掘削力(バケット)	kN[kgf]	27.2 [2770]						32.1 [3270]			36.8 [3750]		
走行速度(高速/低速)	km/h	4.3/2.8						4.2/2.5					
旋回速度	min ⁻¹	9.1						9.0					
登坂角度	度(%)	30(58)											
ブームスイング角度	度	左72/右62		左62/右62		左72/右62		左62/右62		左80/右60			
接地圧	kPa[kgf/cm ²]	28[0.28]	28[0.28]	30[0.30]	28[0.28]	28[0.28]	30[0.30]	26[0.26]	26[0.26]	26[0.27]	27[0.28]	27[0.28]	28[0.29]
●その他													
燃料タンク容量	L	42						70					
作動油タンク容量	L	43(基準レベル32)						56(基準レベル42)					

(注)・バケット容量は、新JISと旧JISを併記しました。

- 機体質量3トン以上のバケットを装着した建設機械の運転には「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用・掘削用)運転技能講習修了証」の取得、機体質量3トン未満には「車両系建設機械(整地・運搬・積み込み用・掘削用)運転特別教育」の受講が必要です。
- 機体質量3トン以上のブレーカ、鉄骨切断機(鉄骨切断機、コンクリート圧砕機、解体用つかみ機)の運転には、「車両系建設機械(解体用)運転技能講習修了証」の取得、機体質量3トン未満には「車両系建設機械(解体用)運転特別教育」の受講が必要です。(平成25年7月1日、労働安全衛生規則改正による)

外形寸法・作業範囲



項目	モデル	ΔX30 _U -6B			ΔX35 _U -6B			ΔX40 _U -6B			ΔX50 _U -6B		
クローラ形式	ゴム												
ルーフ形式		2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ	2柱 キャノピ	4柱 キャノピ	キャブ
A: 輸送時全長	mm	4,450			4,640			5,350			5,470		
B: 輸送時全幅	mm	1,550			1,740			1,960			2,000		
C: 輸送時全高	mm	2,480			2,480			2,530			2,530		
D: 旋回体全幅	mm	1,550			1,550			1,850			1,850		
E: クローラ全長	mm	2,110			2,110			2,500			2,500		
F: タンブラ中心距離	mm	1,660			1,660			2,000			2,000		
B: クローラ全幅	mm	1,550			1,740			1,960			2,000		
G: トラックゲージ幅	mm	1,250			1,440			1,560			1,600		
H: クローラ幅	mm	300			300			400			400		
I: 最低地上高	mm	280			280			340			340		
J: ブレード水平距離	mm	1,620			1,620			1,910			1,910		
K: ブレード高さ	mm	360			360			375			375		
L: ブレード幅	mm	1,550			1,740			1,960			2,000		
M: 旋回体地上高	mm	550			550			610			610		
N: 左オフセット量	mm	610			610			690			690		
O: 右オフセット量	mm	735	700		735	700		850	850		850	850	
P: 後端旋回半径	mm	775			870			980			1,000		
a: 最大掘削半径	mm	4,890			5,210			5,760			5,960		
b: 最大床面掘削半径	mm	4,750			5,080			5,610			5,820		
c: 最大掘削深さ	mm	2,790			3,060			3,320			3,530		
d: 最大垂直掘削深さ	mm	2,330			2,580			2,550			2,810		
e: 最大掘削高さ	mm	4,620	4,420		4,870	4,700		5,590	5,750		5,590	5,750	
f: 最大ダンプ高さ	mm	3,200	3,030		3,460	3,310		3,910	4,070		3,910	4,070	
g: フロント最小旋回半径	mm	1,970	2,150		2,080	2,240		2,240	2,210		2,240	2,210	
h: スイング時最小旋回半径	mm	1,580	1,820		1,670	1,910		1,750	1,730		1,750	1,730	
k: 作業時最大高さ	mm	3,530	3,440		3,720	3,640		4,250	4,380		4,250	4,380	
j: ブレード上降量	mm	360			360			480			480		
i: ブレード下昇量	mm	320			400			395			395		

※ 4柱キャノピ、キャブ仕様は製造時対応オプションです。 ※仕様および外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

